

診断士にいがた SOUP LETTER

発行／一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

第 28 号／令和 4 年 6 月

URL <https://www.n-smeca.jp/>

TEL 025-378-4021

FAX 025-378-4022

一般社団法人新潟県中小企業診断士協会

会長 土田正憲



5月28日に行われた定時社員総会ならびに理事会を経て会長に再任されました。3期目となります。よろしくお願ひ申し上げます。

さて、今年全国において3年ぶりに規制のないゴールデンウィークとなり各地で人出が大幅に増加しました。しかし、新型コロナウイルス感染症は依然収束していません。その一方でロシアのウクライナ侵攻など世界情勢はこれまで急激に変化し中小企業に大きなインパクトを与えています。このような状況下、当協会では今年度、以下の事業計画に取り組んでまいります。

○基本方針

多様な専門家集団として、会員が相互に切磋琢磨してコンサルティング能力の向上に努めるとともに、中小企業診断士制度の普及と推進、中小企業支援機関等との連携により中小企業の振興に貢献します。また、会員が充実した「中小企業診断士ライフ」を送れる、魅力ある組織を目指します。

- (1) 会員の協会活動への参加と交流を促進する
- (2) 会員のコンサルティング能力の向上を図る
- (3) 外部機関・他団体との連携を強化する

(4) 中小企業診断士制度の普及と推進を通じて社会的地位の向上を図る

(5) コンプライアンスの徹底を図る

○事業計画

(1) 交流事業

青年部活動により入会間もない会員の協会活動への参加を促します。会員相互ならびに外部機関との交流を促します。

(2) 研修事業

理論政策更新研修等の実施、研究会の活性化により会員のコンサルティング能力の向上を図ります。中小企業診断士試験の受験者を対象とした事業の実施により中小企業診断士制度の普及と推進を図ります。

(3) 広報事業

会報の発行、ホームページおよびプレスを活用により協会活動および中小企業診断士に関する情報を広く発信します。「中小企業診断士の日」のイベントを開催し、中小企業診断士制度の普及と推進、さらに社会的地位の向上を図ります。

(4) 業務受託事業

専門家派遣事業等の受託業務の円滑な運営に取り組めます。外部の諸機関との連携強化により新規業務の受託拡大を図ります。

(5) コンプライアンスの徹底

コンプライアンス研修の受講促進を通じて会員の法令遵守意識の浸透を図り、高い倫理観と責任感をもって中小企業を支援する組織づくりに取り組みます。

経営支援における中小企業診断士への期待はますます大きくなっています。中小企業の振興に寄与するため、活気ある組織づくりに取り組みます。

理事紹介

理事・副会長 近藤 信



このたび、副会長（会員増強担当）を拝命した近藤です。私が診断士協会にお世話になってからはやいもので21年が経ちました。その間、数々のやりがいのある役割を

命じていただき、多くの先輩にお世話になり（見送り）多くの仲間を迎え入れてきました。今日の診断士としての私があるのは診断士協会の仲間がいたからです。本当に感謝しています。

今後は副会長として、私がお世話になり思い入れのある診断士協会の発展・継続させるために、会員増強のために粉骨砕身励んでまいります。

診断士協会の同志の皆様、支えてください。関係各所の皆様、入会勧誘訪問の際には何卒よろしくお願いいたします。合掌。

理事・副会長 上村 修



今年度、新たに副会長に就任しました上村修です。

昨年度までは、主に企業再生支援研究会の代表として、同研究会の企画運営を中心に協会活動に携わってきました。

近年、当協会は若い中小企業診断士の入会が増えています。また、様々な専門分野や得意分野をもつ会員も増加しています。

協会会員となるメリットとして、多才な会員の方々との交流を通じて、モチベーションアップやスキルアップが図れることや、幅広い人的ネットワークを築けることが挙げられます。

土田会長の補佐役としての役割を十分に果たしながら、協会活動が円滑に運営されていくために、微力ではありますが、取り組んでまいります。

皆様、よろしくお願いいたします。

専務理事 平野康晴



この度、専務理事を拝命しました平野康晴です。長年に渡って辣腕を振るわれた近藤信先生に代わっての重責に、身が引き締まる思いです。本職務を通じて、新潟県内の中小企業、ならびに新潟県中小

企業診断士協会の発展に精一杯貢献したいと思っています。ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

当協会は、土田正憲会長体制となり5年目を迎えます。土田会長が掲げるビジョンを、財務の側面、そして組織づくりの側面から支え、実現させるのが私の使命だと考えております。財務面では、安定した収益構造を構築し、強固な財務基盤を確立して参ります。組織面では、理事会そして会員相互のコミュニケーションを円滑にし、魅力と活力ある組織となるよう尽力いたします。

会員の皆様、ワクワクする診断士協会と一緒に作っていきましょう！！

事務局長 土田克則



事務局長の土田克則です。引き続き事務局長を務めることになりました。途中、別の役職をやりましたが、事務局長通算で7年目となります。

何年やっても慣れないもので、ちょくちょくミスをやらかしてしまっております。幸い、大問題となったことはありませんが、いつか致命的なミスをやらかしてしまうのでは？とビクビクしております。

自分では若手のつもりでしたが、いつのまにか診断士になってから12年も経過し、年齢も50歳となりました。私のイメージでは、事務局長は若手がやるべき役職だと思っておりますので、2年後にはめでたく、誰かに引継げるよう頑張りたいと思います。2年間、よろしくお願いいたします。

理事・総務委員会 委員長 岡田正博



また総務委員となりました岡田です。誰かがどこかで書いているかもしれませんが、新潟県中小企業診断士協会も10期が終わり、新たな節目となりました（なぜ節目なのかわかりませんが）。

総務委員会は社員総会や新春講演会・新年会などを担当していますが、昨年度もその前の年度もコロナ禍でまともに開催できず「活躍」する機会がありませんでした。そうするとここに書くこともないから困るんですよね・・・前世紀のスペイン風邪も3年で収束したそうですし、そろそろコロナも目途がついて研究会活動や協会のイベントを活発化させたいですね。交流あってこそその診断士協会だと思います。ということで今年度もまたよろしく願いいたします。

理事・総務委員会担当 田邊直樹



本年度から総務委員会担当理事を拝命いたしました田邊直樹です。総務委員会として、社員総会、講演会、新年会の運営など行います。よろしく願いいたします。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)、「商工会、商工会議所の支援の質を高めるために連携を強化したい民間事業者」の調査にて「中小企業診断士」が1位を獲得しておりました。中小企業の支援にご尽力されている方々からお声を頂けるというのは、大変喜ばしくもあり、身が引き締まる思いです。社会に求められる新潟県協会、求められる協会会員として、微力ながら努めて参りたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。

理事・研修委員会 委員長 小山直久



本年度より、研修委員長を拝命しました小山直久です。研修委員会の活動を通じて、当協会及び新潟県の中小企業の発展に会員の皆様方とともに尽力して参ります。

本年度の研修委員会は、以下の3つに重点を置き活動いたします。

- ①理論政策更新研修（新潟会場）の企画・運営
 - ②診断士資格取得希望者の学習機会及び現会員との交流の場づくり
 - ③コンプライアンス遵守のための取り組み
- 会員の皆様には研修委員会の活動に積極的にご参加いただくとともに、ご意見ご要望を賜り、より良き委員会運営に努めていく所存です。
- 皆様方、どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事・研修委員会担当 阿部哲也



今年度、新たに理事に就任いたしました阿部哲也です。

地域金融機関勤務という視点を生かして、県協会および中小企業診断士の皆様、そして新潟の中小企業のために尽力していく所存です。

今後、研修委員会担当として理論政策更新研修などの各種研修やセミナーの企画・運営に携わっていきます。中小企業の更なる発展を支援するため、知識の補充やスキルアップに資する機会を提供していきたいと考えます。

ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い致します。

理事・事業開発委員会 委員長 和栗聖



平素は、事業開発委員会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。本年度で事業開発委員長7年目を務めさせていただき和栗と申します。事業開発委員会は主に

外部機関との連携を図り、当協会の事業の開発および発展を担っております。また、各種事業を通じて、協会会員同士の交流やスキルアップの場を提供しています。

事業開発委員会では一緒に活動をしていただける委員会メンバーを随時募集しています。まずは、お試参加でも構いませんのでご興味のある方は、お気軽にお問合せください。

【本年度委員会メンバー（順不同）】敬称略

「渡邊重仁、渡辺芳久、白倉雅晴、本間大輔、横山康之介」

また、当協会に業務を依頼したい外部機関の皆様につきましてもお気軽にお問合せください。

理事・事業開発委員会担当 渡邊重仁

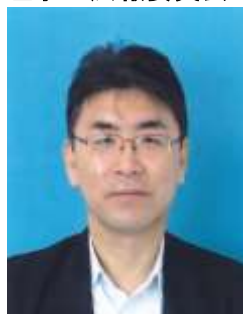


前期に引き続き、理事を拝命しました渡邊重仁でございます。新型コロナウイルス感染症の影響で生活様式も大きく変わりました。

私生活では自宅で過ごす時間が増えたことと、子供の影響もあってか、飼っている生き物が増えてきました（グッピー、エビ、カブトムシを飼育中）。今年からは初めてカブトムシの幼虫の飼育にチャレンジしました。幼虫から蛹にきちんと育てるために、土の環境が適しているか等を日々確認しています。

引き続き、新型コロナウイルス感染症の収束も不透明な状況ですが、このような状況だからこそできることを考え、協会の運営に尽力して参りたいと思います。よろしくお願い致します。

理事・広報委員会 委員長 樋口圭治



僭越ながら、今年度、広報委員長を拝命いたしました樋口です。よろしくお願い致します。

今年度の広報委員会の主な活動は、①会報（当スプレンダー）の発行、②ホームページの管理、③中小企業診断士の日のイベント運営の3点となっています。それぞれの活動が新潟県中小企業診断士協会にとって、会員に対しても外部の機関に対しても適切に発信していかなければなりません。

そうした意味で、重要なポジションであることを認識した上で、運営にあたっていきたいと考えています。幸いにも長谷川貴一さんと山崎寛和さんという優秀な二人の先生が広報委員会担当理事になっていただきました。お二人を始め、委員会メンバー力を合わせ、委員会活動を推進したいと考えています。

理事・広報委員会担当 長谷川貴一



お世話になっております。広報委員会担当理事の長谷川貴一です。昨年、おとしと引き続き3年連続、広報委員会を担当させていただくことになりました。本年度もHPの管理と診断士の日の企画という2つの大きな担いを担当しますので、当協会をしっかりと広報できるよう委員会一丸で取り組んでいきたいと思っております。また、昨年、様々な企業や団体でSNSを活用した広報がされていますが、年々と広報戦略も変化しています。

3年も広報委員会を担当しますので、この機会をしっかりと活用して、企業や団体のPRの手法やその活用方法等、自分自身の学びに繋がるよう励んでいきたいと思っております。一年間どうぞよろしくお願い致します。

監事紹介

理事・広報委員会担当 山崎寛和



この度、新たに広報委員会担当理事を務めさせて頂くことになりました、山崎寛和と申します。これまで広報委員会では協会ホームページの会員紹介ページの更新や診断士の日のイベント

の企画立案等に携わらせて頂きました。会員紹介ページは、会員の皆様のご協力のお陰で近年掲載者が増加しているため、更なる充実を目指して取り組んで参ります。

診断士の日のイベントについては、新型コロナウイルスの影響もありますが、今年度は改めて最適な形で有意義なイベントを開催できるよう委員会内で検討したいと思います。広報委員会の活動を通じて外部関係者の皆様、会員の皆様に有益な情報を発信し、より多くの県内企業の発展に資することができるよう努めて参ります。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

監事 辰喜太輔



監事に就任して3期目を迎えることとなりました。引き続きどうぞよろしくお願い致します。

新型コロナウイルス感染症が流行してから早2年が経過しました。この2年を振り返ると多く行事等が中

止になり、個人的にも外で飲む機会も激減してしまいました。またこの間に初めてお会いする方は常にマスクをしている状態ですので、なかなか顔を覚えることができず、また逆にマスクを外すとお互いの印象も大きく変わってしまうのではないかと思います。各種団体の円滑な運営のために個人的には飲みニケーションが重要と考えています。早くコロナも治まり当たり前のコミュニケーションができるようになることを切望しております。

監事 田中裕輔



監事を拝命いたしました田中裕輔です。永らく協会の活動から遠のいておりましたので、会員の皆様の中には初めての方も多いと存じます。

簡単な自己紹介ですが、10年ほど前、当協会が一般社団法人化する際には、設立委員会の一員として諸規定集のとりまとめをいたしました。新潟県協会設立後は2年間、専務理事兼事務局長を務めました。様々なことが初めてで、いろいろ体制を整えなければならず、日々右往左往しておりました。

当時と今の協会では活動の幅もずいぶんと広がっているように感じております。この度は監事の立場ですが、新潟県協会の発展を見ていきたいと思っております。

研究会紹介

企業再生支援研究会

代表 上村 修



昨年度に引き続き、今年度も企業再生支援研究会の代表に就任しました上村修です。よろしくお願いいたします。

昨年度は研究会を計3回開催しました。内容的には、外部講師による研究会を2回、会員講師による研究会を1回開催しました。コロナ感染拡大の影響により、第3回研究会は当研究会では初めてオンラインセミナー形式で実施しました。

今年度は研究会を2回開催予定としております。

第1回目の研究会は、7月23日（土）に予定しており、2名の会員講師による研究会を行います（2部構成）。本間大輔会員から「経営改善のためのDXの始め方」として、辰喜太輔会員から「インボイス」等税務に係るテーマでの講演を予定しております。

第2回目の研究会（来年2月頃開催予定）は、外部講師による研究会を開催予定です。

また、今年度は、理論政策更新研修会の長岡会場（9月10日）の企画運営を当研究会が受託することになりました。研修テーマは「中小企業の事業再構築支援」となっており、アフターコロナ時代に向けた中小企業支援の在り方を考える内容を企画しております。

今年度も多くの方々から研究会に参加頂き、スキルアップと会員交流を図っていききたいと考えております。

事業承継・中小M&A研究会

代表 土田正憲



当研究会は、事業承継支援における中小企業診断士のコンサルティングスキルの向上と職域の拡大を目指すことを目的として平成25年に設立されました。令和2年度からは名称を「事業承継・中小M&A研究会」に変更して活動しています。

令和3年度は「中小M&A」をテーマに2回の研究会を開催し、また「小規模事業者の事業承継」をテーマとして理論政策更新研修の企画・運営を行いました。令和4年度は以下のメンバーと方針のもと活動してまいります。

○研究会メンバー（敬称略、掲載承諾者のみ）

相沢 純、阿部哲也、井上 芳、伊原英一、井村吉孝、太田 竜、鎌田晃博、銀山敏行、小林和之、佐野誠也、白倉雅晴、高橋 清、辰喜太輔、田村昌美、土田克則、土田正憲、長尾彰久、長谷川伸一、樋口圭治、平野康晴、山崎勝雄、山崎寛和、和栗 聖、渡辺 謙

○活動方針

研究会会員と外部講師による勉強会を開催し、事業承継（中小M&Aを含む）支援に関する知識と技術等について学び、コンサルティングスキルの向上と職域の拡大を図る。

○活動予定

令和4年7月、11月、令和5年2月に研究会を開催

青年部会・同好会紹介

実務従事ポイント研究会

代表 平野康晴

実務従事ポイント研究会は、設立3年目を迎える当協会内で最も新しい研究会です。

当研究会の目的は、診断機会の少ない企業内診断士の皆様や、独立間もない独立診断士の皆様に、企業診断の機会を用意し、診断実務の経験を存分に積んでいただき、診断・助言能力を向上してもらうことです。経験豊富な独立診断士の先輩方がコーチとなり、高品質の診断や助言、成果物を提供できるようサポートします。単に実務従事ポイントを獲得するためではなく、実戦経験を積むことで、コンサルタントとしてのスキルの向上を目指しています。本業への効果・好影響も期待できます。



過去の診断実習の様子

発足3年目を迎え、研究会の課題も明らかになってきました。一つひとつ課題をクリアし、会員にとってさらに有意義な研究会を築いていきたいと思えます。

当研究会では随時会員を募集しています。お気軽に私、平野までお声がけください。

なお、本誌発行時点では、以下のメンバーで活動しています。(五十音順、敬称略)

相沢純、阿部哲也、鎌田晃博、銀山敏行、工藤泰暢、小山直久、田邊直樹、田村博康、土田克則、土田正憲、長谷川伸一、平野康晴、山崎寛和

青年部会

会長 長谷川貴一



いつもお世話になっております。青年部会の長谷川です。青年部会は、会員相互の交流や情報交換を目的として勉強会や会合を行っております。

昨年度も新型コロナウイルスで活動が制限される中、思ったような交流の場や情報交換の機会を設けることはできませんでした。ただし、2年程前から始まった外部団体との連携事業に参画する中で、青年部会メンバーの学びの機会を得ることができました。ご協力いただきました皆様には感謝申し上げます。

本年度は、改めて青年部会の目的に立ち返って会員相互の交流や情報交換ができる場をできる限り提供していきたいと思えます。今後も新型コロナウイルスが無くなることはありませんが、日々世の中は変化しています。これまでコロナ禍でも交流できる様々な技術が生まれ、交流の仕方はどんどん変化しています。また、オンライン交流が増える中で、オンラインでできる交流の限界も感じています。その時の情勢に合わせて柔軟に対応しながら、本年度も青年部会としてしっかりと活動をしていきたいと思えます。

どうぞよろしく願い致します。

【青年部会員 (五十音順、敬称略)】

相沢 純	阿部 哲也	鎌田 晃博
小林 和之	小山 直久	佐野 盛也
鈴木 俊雄	田邊 直樹	土田 正憲
長尾 彰久	布川 夏輝	樋口 圭治
平野 康晴	本間 大輔	森 祐策
山崎 寛和	横山 康之介	和栗 聖

診断士になりたい人を支援する会

代表 土田克則

中小企業診断士を目指している人は、孤独に勉強しているのではないか？モチベーションを維持することが難しいのではないか？2次試験の解答がないので、勉強の仕方が分からないのではないか？などなど勝手に心配して、「診断士になりたい人を支援する会」は活動しております。具体的な活動は、「2次試験問題の解き方を研究する会」と「情報交換会」の開催がほとんどです。「2次試験問題の解き方を研究する会」では、支援する現役診断士と受験生が過去問を解きながら、合格レベルの解答はこんな感じではないか？と議論する勉強会ですが、珍解答が続出したり、本当かどうか分からない都市伝説のようなテクニックを伝授するモノがいたり、いつも楽しく勉強しています。楽しいだけで、合格できないのでは？と心配する方もいるかもしれませんが、去年は、めでたく、参加者の中から合格者が誕生しております。（合格率を考慮すると、普通の確率？のような気がします。。。）

会が設立された当初は、支援する側の診断士が大勢いましたが、最近、ちょっと減ってきております。名称が堅苦しいかもしれませんが、実態は、飲み会を開くための口実みたいな会なので、是非、気軽にご参加いただければと思います。この2年は、まともに飲み会が開けなかったもので、今年こそは沢山飲みたいと意気込んでおります。

ご興味のある方は、私までご連絡ください。また、診断士を目指している人に、この会の存在を広めていただけますようお願いいたします。

○連絡先

診断士になりたい人を支援する会代表 土田克則
tsuchida0806@yahoo.co.jp

090-2739-9863



クリップボード

- ◆令和4年8月27日（土）
理論政策更新研修（新潟会場）
- ◆令和4年9月10日（土）
理論政策更新研修（長岡会場）
- ◆令和4年11月15日（火）
中小企業診断士の日のイベント
- ◆令和5年1月28日（土）
新春講演会および新年会

事務局移転のお知らせ

この度、新潟県中小企業診断士協会の事務局は以下の住所に移転しました。

新潟市中央区愛宕1丁目4番15号
ジャスビル203号

※なお、電話・FAX番号は従来のままです。

今後ともよろしく願いいたします。

編集後記

広報委員会 委員長 樋口圭治

今年度と次年度は土田正憲会長の3期目の体制となります。3期目を迎えるにあたり、一部変更になった理事・監事のメンバーや現在の研究会等を、今回の広報誌では紹介させていただきました。新潟県中小企業診断士協会の本部事務所も移転となったこともあり、会長始め理事・監事一同、心機一転運営に取り組んでいきたいと考えています。皆様、どうかよろしく願いします。

昨今は、目にすると辛くなるようなニュースが続いています。我々のビジネスや生活に、どのような影響を及ぼすのでしょうか。

何ともやるせない外部環境の変化ではありますが、変化に対応したビジネスや生活をせざるを得ないと考えている次第です。